

話法で伝える (基礎)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 人から聞いたこと・聞かれたことを、自分のことばで第三者に伝えられる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

My friend told me that the school bus would be late.

友だちが、スクールバスが遅れると教えてくれた。

She also asked me if I had an umbrella.

彼女は、傘を持っているかどうかもたずねてきた。

型で書く 型で書く—____だけ自分のことばに 思考・判断・表現

ことば例 ((1): the test was easy / the shop was closed (2): I was free on Sunday / I liked math (3): bring my dictionary / wait at the gate)。気づき: (1)と(2)は中身を that / if の節で受けますが、(3)は命令や頼みごとなので to 不定詞で受けます。受け皿が3種類あることを確かめて。

(1) My friend told me that _____. 聞いたこと

(2) My friend asked me if _____. 聞かれたこと

(3) My teacher told me to _____. 言われたこと (すること)

ペアで話す ペアで話す—伝言ゲーム

3人1組でもできる。AがI文言う→BがそれをCに向かって伝え直す→Cが元の文を当てる。伝え直すときは、人称・時制・「いつ・どこ」の3つだけを動かすこと。

(1) A: I am hungry now. B: He said that he was hungry then.

動くのは人称・時制・時を指す語だけ

(2) A: Do you like winter? B: She asked me if I liked winter.

疑問は if で受ける

あいづち・返しの型: Really? That's right. One more time, please. I got it.

書く

3文つなげて「今日聞いたこと」

思考・判断・表現

上の「型で書く」の3文を、順番にそのまま書きうつしてつなげる—それだけで短い報告になる。最後に、ペアの相手から聞いたことを1文で: My partner told me that _____.

評価

先生はここを見ます (加点式)

that 節・if 節・to 不定詞の3つの受け皿が使い分けられている	+5点
_____に自分のことばが入っている	+3点
ペアの相手から聞いたことが1文ある	+2点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直して扱います。

振り返り

ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ